

IMAGE INPUT DEVICE AND DIGITAL STILL CAMERA

Publication number: JP11308433

Publication date: 1999-11-05

Inventor: KADOWAKI SHUICHI

Applicant: CANON KK

Classification:

- international: H04N5/765; H04N1/00; H04N1/387; H04N5/781;
H04N5/765; H04N1/00; H04N1/387; H04N5/781; (IPC1-
7): H04N1/387; H04N1/00; H04N5/765; H04N5/781

- european:

Application number: JP19980109767 19980420

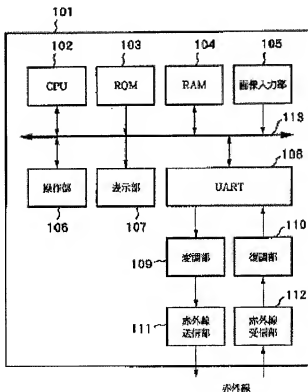
Priority number(s): JP19980109767 19980420

[Report a data error here](#)

Abstract of JP11308433

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an image input device capable of printing plural images on printing paper by a free layout.

SOLUTION: This image input device 101 connected to a printer is provided with a storage part 104 for storing the plural images, a setting part 102 for selecting the plural images and setting the layout onto one screen of the printer and a transmission part 111 for transmitting the layout data of the plural images set in the setting part to the printer.



Data supplied from the *esp@cenet* database - Worldwide

Family list

1 family member for:

JP11308433

Derived from 1 application.

[Back to JP11308433](#)

1 IMAGE INPUT DEVICE AND DIGITAL STILL CAMERA

Publication info: **JP11308433 A** - 1999-11-05

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19)日本特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-308433

(43)公開日 平成11年(1999)11月5日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

F I

H 0 4 N 1/387
1/00
5/785
5/781H 0 4 N 1/387
1/00 B
5/781 5 1 0 C

審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全 12 頁)

(21)出願番号 特願平10-109787

(22)出願日 平成10年(1998)4月20日

(71)出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72)発明者 門脇 修一

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ

ノン株式会社内

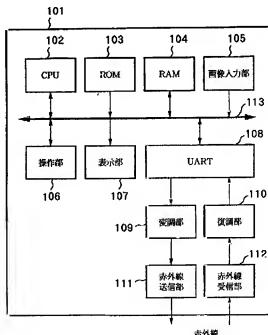
(74)代理人 弁理士 大塚 康徳 (外2名)

(54)【発明の名称】 画像入力装置及びデジタルスチルカメラ

(57)【要約】

【課題】複数の画像を印刷用紙上に自由なレイアウトで印刷することができる画像入力装置を提供する。

【解決手段】印刷装置に接続される画像入力装置101において、複数の画像を記憶するための記憶部104と、この複数の画像を選択して、印刷装置の一画面上へのレイアウトを設定するための設定部102と、この設定部で設定した複数の画像のレイアウトデータを印刷装置に送信する送信部111とを具備する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 印刷装置に接続される画像入力装置において、

複数の画像を記憶するための記憶手段と、
該複数の画像を選択して、印刷装置の画面上へのレイアウトを設定するための設定手段と、
該設定手段で設定した複数の画像のレイアウトデータを前記印刷装置に送信する送信手段とを具備することを特徴とする画像入力装置。

【請求項2】 前記設定手段は、前記複数の画像を左寄せ、センタリングまたは右寄せで前記画面上にレイアウトすることを特徴とする請求項1に記載の画像入力装置。

【請求項3】 前記設定手段は、前記複数の画像に日付または時刻を付加してレイアウトを設定することを特徴とする請求項1に記載の画像入力装置。

【請求項4】 前記設定手段は、前記複数の画像にコメントを付加してレイアウトを設定することを特徴とする請求項1に記載の画像入力装置。

【請求項5】 レイアウトする画像を選択するための画像の一覧を表示する表示手段を更に具備することを特徴とする請求項1に記載の画像入力装置。

【請求項6】 レイアウトするコメントを選択するためのコメントの一覧を表示する表示手段を更に具備することを特徴とする請求項1に記載の画像入力装置。

【請求項7】 印刷装置に接続されるデジタルスチルカメラにおいて、

複数の画像を記憶するための記憶手段と、
該複数の画像を選択して、印刷装置の画面上へのレイアウトを設定するための設定手段と、
該設定手段で設定した複数の画像のレイアウトデータを前記印刷装置に送信する送信手段とを具備することを特徴とするデジタルスチルカメラ。

【請求項8】 前記設定手段は、前記複数の画像を左寄せ、センタリングまたは右寄せで前記画面上にレイアウトすることを特徴とする請求項7に記載のデジタルスチルカメラ。

【請求項9】 前記設定手段は、前記複数の画像に日付または時刻を付加してレイアウトを設定することを特徴とする請求項7に記載のデジタルスチルカメラ。

【請求項10】 前記設定手段は、前記複数の画像にコメントを付加してレイアウトを設定することを特徴とする請求項7に記載のデジタルスチルカメラ。

【請求項11】 レイアウトする画像を選択するための画像の一覧を表示する表示手段を更に具備することを特徴とする請求項7に記載のデジタルスチルカメラ。

【請求項12】 レイアウトするコメントを選択するためのコメントの一覧を表示する表示手段を更に具備することを特徴とする請求項7に記載のデジタルスチルカメラ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、印刷装置に接続される画像入力装置及びデジタルスチルカメラに関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、各種の装置を接続する手段として、光空間通信が注目されてきている。光空間通信は、接続のためのケーブルを必要としないワイヤレス化を比較的安価に実現することができる。

【0003】最近設立されたIrDA(Infrared Data Association)は、赤外線光空間通信の規格化を進めている団体である。IrDAにより、115.2kbpsの伝送速度を持つ物理レイヤの規格およびプロトコル(通信規約)が作成された。物理レイヤの規格として、"Serial Infrared (SIR) Physical Layer Link Specification"がある。プロトコルとして、"Serial Infrared Link Access Protocol (IrLAP)"、"Link Management Protocol (IrLMP)"、"A Flow-Control Mechanism for IrLAP (Tiny TP)"および"Serial and Parallel Port Emulation over Ir (IrCMM)"がある。これらの規格やプロトコルに従った赤外線光空間通信の方式をIrDAと呼ぶこともある。最近、1.2Mbpsおよび4Mbpsの伝送速度も規定された。現在の規格では、通信距離は1m以内で、照射角は±15°である。

【0004】従来、デジタルスチルカメラで入力した画像を印刷するために、デジタルスチルカメラとプリンタをシリアルケーブルで接続していた。最近IrDAの様な赤外線光空間通信でデジタルスチルカメラとプリンタを接続する場合もある。

【0005】図14は、IrDAでデジタルスチルカメラとプリンタを接続する従来例である。

【0006】1301はデジタルスチルカメラであり、1302はプリンタである。

【0007】デジタルスチルカメラ1301はCCDなどにより取り入れた画像を内部のメモリに蓄積する。印刷時、蓄積された画像はプリンタ1302にIrDAで送信される。画像を受信したプリンタ1302は、画像を印刷する。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記の従来例では、印刷用紙1枚に1個の画像しか印刷されず、アルバムのように自由なレイアウトで画像を印刷用紙に配置できない欠点があった。

【0009】従って、本発明は上述した課題に鑑みてなされたものであり、複数の画像を印刷用紙上に自由なレイアウトで印刷することができる画像入力装置及びデジタルスチルカメラを提供することである。

【0010】

【課題を解決するための手段】上述した課題を解決し、

目的を達成するために、本発明に係わる画像入力装置は、印刷装置に接続される画像入力装置において、複数の画像を記憶するための記憶手段と、該複数の画像を選択して、印刷装置の一面上へのレイアウトを設定するための設定手段と、該設定手段で設定した複数の画像のレイアウトデータを前記印刷装置に送信する送信手段とを具備することを特徴としている。

【0011】また、この発明に係わる画像入力装置において、前記設定手段は、前記複数の画像を左寄せ、センタリングまたは右寄せで前記一面上にレイアウトすることを特徴としている。

【0012】また、この発明に係わる画像入力装置において、前記設定手段は、前記複数の画像に日付または時刻を付加してレイアウトを設定することを特徴としている。

【0013】また、この発明に係わる画像入力装置において、前記設定手段は、前記複数の画像にコメントを付加してレイアウトを設定することを特徴としている。

【0014】また、この発明に係わる画像入力装置において、レイアウトする画像を選択するための画像の一覧を表示する表示手段を更に具備することを特徴としている。

【0015】また、この発明に係わる画像入力装置において、レイアウトするコメントを選択するためのコメントの一覧を表示する表示手段を更に具備することを特徴としている。

【0016】また、本発明に係わるデジタルスチルカメラは、印刷装置に接続されるデジタルスチルカメラにおいて、複数の画像を記憶するための記憶手段と、該複数の画像を選択して、印刷装置の一面上へのレイアウトを設定するための設定手段と、該設定手段で設定した複数の画像のレイアウトデータを前記印刷装置に送信する送信手段とを具備することを特徴としている。

【0017】また、この発明に係わるデジタルスチルカメラにおいて、前記設定手段は、前記複数の画像を左寄せ、センタリングまたは右寄せで前記一面上にレイアウトすることを特徴としている。

【0018】また、この発明に係わるデジタルスチルカメラにおいて、前記設定手段は、前記複数の画像に日付または時刻を付加してレイアウトを設定することを特徴としている。

【0019】また、この発明に係わるデジタルスチルカメラにおいて、前記設定手段は、前記複数の画像にコメントを付加してレイアウトを設定することを特徴としている。

【0020】また、この発明に係わるデジタルスチルカメラにおいて、レイアウトする画像を選択するための画像の一覧を表示する表示手段を更に具備することを特徴としている。

【0021】また、この発明に係わるデジタルスチル

カメラにおいて、レイアウトするコメントを選択するためのコメントの一覧を表示する表示手段を更に具備することを特徴としている。

【0022】

【発明の実施の形態】以下、本発明の好適な実施形態について、添付図面を参照して詳細に説明する。

【0023】図1は、本発明の一実施形態に係わるデジタルスチルカメラの構成を示すブロック図である。

【0024】101はデジタルスチルカメラ、102はデジタルスチルカメラ101の全体を制御するCPU、103はCPU102で実行されるプログラムを格納するROM、104はCPU102で使用されるデータを格納するRAM、105は画像を取り込むためのCCDなどからなる画像入力部、106はボタンやタッチパネルなどからなる操作部、107はLCDなどからなる表示部、108はCPU102に対してシリアル・データ・チャネルを提供するUART(Universal Asynchronous Receiver/Transmitter)、109はUART108から赤外線送信部111への信号を変換する変調部、110は赤外線受信部112からUART108への信号を変換する復調部、111は赤外線を送信するLEDとそのドライバなどからなる赤外線送信部、112は赤外線を受信するphoto detectorとそのドライバなどからなる赤外線受信部、113は構成ブロック102からUART108を接続するバスである。

【0025】図1において、デジタルスチルカメラ101は画像入力部105から画像を入力してRAM104に複数格納する。入力した画像の印刷時、RAM104に格納された画像は赤外線送信部111からプリンタへ送信される。

【0026】図2は本実施形態における印刷結果の一例を示した図である。

【0027】201は印刷用紙、202は1番目の画像、203は2番目の画像、204は3番目の画像である。

【0028】図2において、一枚の印刷用紙201に3つの画像が印刷されている。例えば、1番目の画像202は左側、2番目の画像203は右側、3番目の画像204は中央に印刷されている。それぞれの画像を左側、中央、右側のいずれにするかは操作部106から指定できる。

【0029】図3は、本実施形態における印刷結果の他の例を示した図である。

【0030】301から304は、201から204と同様で、それぞれ、印刷用紙、1番目の画像、2番目の画像、3番目の画像を示す。305は画像1の日付1、306は画像2の日付2、307は画像3の日付3、308は画像1のコメント1、309は画像2のコメント2、310は画像3のコメント3である。

【0031】図3において、各画像に日付とコメントが

印刷されている。左側の画像302の右側に日付305とコメント308が印刷されている。右側の画像303の左側に日付306とコメント309が印刷されている。中央の画像303の左側に日付307、右側にコメント310が印刷されている。画像に日付またはコメントを付加するかしないかは操作部106から指定できる。

【0032】図4は、本実施形態における表示部107に表示されるレイアウト指定画面である。

【0033】401は表示部107の画面、402は選択された画像、403は選択された画像402のNo.、404は画像選択ボタン、405は左側ボタン、406は中央ボタン、407は右側ボタン、408は日付なしボタン、409は日付入りボタン、410はコメント選択ボタン、411は前面画像ボタン、412は次画像ボタン、413は印刷ボタン、414はキャンセルボタンである。

【0034】図4のレイアウト指定画面は表示部107に表示されるメインメニューの中印刷ボタンを押すと表示される。操作部106にはカーソルキーと選択ボタンがありレイアウト指定画面中のボタンを選択できる。

【0035】図5は、本実施形態における表示部107に表示される画像選択画面である。

【0036】501は表示部107の画面、502から509は、RAM104に格納された画像No. 1から画像No. 8、510は選択ボタン、511はキャンセルボタンである。

【0037】図5の画像選択画面は図4の画像選択ボタン404を選択すると表示される。本実施形態では、画像No. 1(502)から画像No. 8(509)までの8個の画像がRAM104に格納されている。

【0038】図6は、本実施形態における表示部107に表示されるコメント選択画面である。

【0039】601は表示部107の画面、602から609はRAM104に格納されたコメントNo. 1からコメントNo. 8、610は選択ボタン、611はキャンセルボタンである。

【0040】図6のコメント選択画面は図4の中のコメント選択ボタン410を選択すると表示される。本実施形態では、コメントNo. 1(602)からコメントNo. 8(609)までの8個のコメントが予めROM103に格納されている。

【0041】図7は、本実施形態におけるRAM104の中のメモリマップである。

【0042】700はカウンタである。

【0043】701はカウンタである。

【0044】702～704は、印刷するi番目の画像に対応する画像のNo.を格納するimage(i)である。値が0のとき、i番目の画像を印刷しないことを表す。初期値は0である。

【0045】705～707は、印刷するi番目の画像の印刷位置(左側、中央、右側)を格納するposition(i)である。値がLEFTのとき左側、CENTERのとき中央、RIGHTのとき右側を表す。初期値はLEFTである。

【0046】708～710は、印刷するi番目の画像に日付を付加するかしないかを表すdate(i)である。値がTRUEのとき日付を付加し、FALSEのとき付加しない。初期値はFALSEである。

【0047】711～713は、印刷するi番目の画像に付加するコメントのNo.を格納するcomment(i)である。値が0のとき、コメントを付加しないことを表す。初期値は0である。

【0048】714～715は、コメントNo. 1からコメントNo. 8を格納するcomment_no(i)である。ROM103に格納されているコメントNo. 1からコメントNo. 8は、システム起動時にROM104上の714～715にコピーされる。

【0049】716～717は、画像入力部105から入力した画像No. 1からNo. 8を格納するimage_no(i)である。

【0050】718～720は、印刷するi番目の画像を展開するprint_image(i)である。print_image(i)内には、日付やコメントも展開されるときがある。

【0051】図8及び図9は、本実施形態のROM103に格納されたプログラムの内、図4のレイアウト指定画面表示中に実行されるフローチャートである。本フローチャートは、表示部107に表示されるメインメニューの中で印刷ボタンを押すと起動される。

【0052】ステップS801で、iに1をセットする。

【0053】ステップS802で、image(i)が0ならステップS804に進む。そうでないなら、ステップS803に進む。

【0054】ステップS803で、image_no(image(i))中の画像を402の領域に表示する。402に表示した画像のNo.(image(i)の値)を403の領域に表示する。そして、ステップS805に進む。

【0055】ステップS804で、402の領域の画像の表示をクリアする。403の領域の表示もクリアする。

【0056】ステップS805で、画像選択ボタン404が押されていたならステップS806に進む。そうでないなら、ステップS807に進む。

【0057】ステップS806で、図10の画像選択処理を行い、ステップS802に戻る。

【0058】ステップS807で、左側ボタン405が押されていたならステップS808に進む。そうでない

なら、ステップS809に進む。

【0059】ステップS808で、position (i) にLEFTをセットし、ステップS813に進む。

【0060】ステップS809で、中央ボタン406が押されていたならステップS810に進む。そうでないなら、ステップS811に進む。

【0061】ステップS810で、position (i) にCENTERをセットし、ステップS813に進む。

【0062】ステップS811で、右側ボタン407が押されていたならステップS812に進む。そうでないならステップS813に進む。

【0063】ステップS812で、position (i) にRIGHTをセットする。

【0064】ステップS813で、日付なしボタン408が押されていたならステップS814に進む。そうでないなら、ステップS815に進む。

【0065】ステップS814で、date (i) にFALSBをセットし、ステップS817に進む。

【0066】ステップS815で、日付入ボタン409が押されていたならステップS816に進む。そうでないなら、ステップS817に進む。

【0067】ステップS816で、date (i) にTRUEをセットする。

【0068】ステップS817で、コメント選択ボタン410が押されていたならステップS818に進む。そうでないなら、ステップS819に進む。

【0069】ステップS818で、図11のコメント選択処理を行う。

【0070】ステップS819で、前画像ボタン411が押されていたならステップS820に進む。そうでないなら、ステップS822に進む。

【0071】ステップS820で、iが1よりも大きいならステップS821に進む。そうでないなら、ステップS822に進む。

【0072】ステップS821で、iを1減らし、ステップS820に戻る。

【0073】ステップS822で、次画像ボタン412が押されていたならステップS823に進む。そうでないなら、ステップS825に進む。

【0074】ステップS823で、iが3よりも小さいならステップS824に進む。そうでないなら、ステップS825に進む。

【0075】ステップS824で、iを1増加し、ステップS820に戻る。

【0076】ステップS825で、印刷ボタン413が押されていたならステップS827に進む。そうでないなら、ステップS826に進む。

【0077】ステップS826で、図12の印刷処理を

行う。

【0078】ステップS827で、キャンセルボタン414が押されていたなら終了してメインメニューに戻る。そうでないなら、ステップS805に戻る。

【0079】図10は、本実施形態のROM103に格納されたプログラムの内、図5の画像選択画面表示中に実行されるフローチャートである。本フローチャートは、図4のレイアウト指定画面中の画像選択ボタン404を押すと起動される。

【0080】ステップS901で、画像502から画像509のいずれかが押されていたなら、ステップS902に進む。そうでないなら、ステップS903に進む。

【0081】ステップS902で、image (i) にステップS901で押されていた画像のNo. をセットする。

【0082】ステップS903で、選択ボタン510が押されていたなら終了する。そうでないならステップS904に進む。

【0083】ステップS904で、キャンセルボタン511が押されていたならステップS905に進む。そうでないなら、ステップS901に戻る。

【0084】ステップS905で、image (i) に0をセットして終了する。

【0085】図11は、本実施形態のROM103に格納されたプログラムの内、図6のコメント選択画面表示中に実行されるフローチャートである。本フローチャートは、図4のレイアウト指定画面中のコメント選択ボタン410を押すと起動される。

【0086】ステップS1001で、コメント602からコメント609のいずれかが押されていたなら、ステップS1002に進む。そうでないなら、ステップS1003に進む。

【0087】ステップS1002で、comment (i) にステップS1001で押されていたコメントのNo. をセットする。

【0088】ステップS1003で、選択ボタン610が押されていたなら終了する。そうでないならステップS1004に進む。

【0089】ステップS1004で、キャンセルボタン611が押されていたならステップS1005に進む。そうでないなら、ステップS1001に戻る。

【0090】ステップS1005で、comment (i) に0をセットして終了する。

【0091】図12は、本実施形態のROM103に格納されたプログラムの内、印刷処理中に実行されるフローチャートである。本フローチャートは、図4のレイアウト指定画面中の印刷ボタン413を押すと起動される。

【0092】ステップS1101で、jに1をセットする。

【0093】ステップS1102で、jが3よりも大きいときステップS1105に進む。そうでないならステップS1103に進む。

【0094】ステップS1103で、図13の画像展開処理を実行する。

【0095】ステップS1104で、jを1増加してステップS1102に戻る。

【0096】ステップS1105で、print_image(1)からprint_image(3)の内容を赤外線送信部111からプリンタに送信する。

【0097】図13は、本実施形態のROM103に格納されたプログラムの内、画像展開処理中に実行されるフローチャートである。本フローチャートは、図12の印刷処理のフローチャートから起動される。

【0098】ステップS1201で、image(j)が0のとき終了する。そうでないなら、ステップS1202に進む。

【0099】ステップS1202で、position(j)がLEFTのときステップS1203に進む。そうでないなら、ステップS1208に進む。

【0100】ステップS1203で、image_no(image(j))の中の画像をprint_image(j)の左端に展開する。

【0101】ステップS1204で、date(j)がTRUEのときステップS1205に進む。そうでないなら、ステップS1206に進む。

【0102】ステップS1205で、ステップS1203で展開した画像の右側に日付を展開する。

【0103】ステップS1206で、comment(j)が0より大きいときステップS1207に進む。そうでないなら、終了する。

【0104】ステップS1207で、ステップS1203で展開した画像の右側にcomment_no(comment(j))を展開して終了する。

【0105】ステップS1208で、position(j)がCENTERのときステップS1209に進む。そうでないなら、ステップS1214に進む。

【0106】ステップS1209で、image_no(image(j))の中の画像をprint_image(j)の中央に展開する。

【0107】ステップS1210でdate(j)がTRUEのときステップS1211に進む。そうでないなら、ステップS1212に進む。

【0108】ステップS1211で、ステップS1209で展開した画像の左側に日付を展開する。

【0109】ステップS1212で、comment(j)が0より大きいときステップS1213に進む。そうでないなら、終了する。

【0110】ステップS1213で、ステップS1209で展開した画像の右側にcomment_no(c

omment(j))を展開して終了する。

【0111】ステップS1214で、image_no(image(j))の中の画像をprint_image(j)の右側に展開する。

【0112】ステップS1215で、date(j)がTRUEのときステップS1216に進む。そうでないなら、ステップS1217に進む。

【0113】ステップS1216で、ステップS1214で展開した画像の左側に日付を展開する。

【0114】ステップS1217で、comment(j)が0より大きいときステップS1218に進む。そうでないなら、終了する。

【0115】ステップS1218で、ステップS1214で展開した画像の左側comment_no(comment(j))を展開して終了する。

【0116】(他の実施形態)

(1) 上記の一実施形態では光空間通信方式としてIRDAを使用しているがASK(Amplitude Shift Keying)方式などの他の光空間通信方式でも実施できる。

(2) 一実施形態ではデジタルスチルカメラとプリンタの接続に光空間通信方式を使用しているが、スペクトラム拡散方式などの電磁波による無線通信方式でも実施できる。

(3) 一実施例ではデジタルスチルカメラとプリンタ接続に光空間通信方式を使用しているが、セントロニクスまたはIEEE1284のような双方向セントロニクスでも容易に実施できる。また、RS-232C、USB(Universal Serial Bus)またはIEEE1394のようなシリアルI/Fでも容易に実施できる。

(4) 一実施形態では画像入力装置としてデジタルスチルカメラを使用しているが、静止画撮影機能をもったビデオカメラでも実施できる。また、スキャナでも実施できる。

(5) 一実施形態では1枚の印刷用紙に3個の画像を印刷できるが、他の画像数でも実施できる。(例えば、1枚の印刷用紙に5個の画像を印刷するように実施することもできる。)

(6) 一実施形態では画像と一緒に日付を印刷できるが、日付の他に時間を印刷するように実施することもできる。

(7) 一実施形態ではあらかじめROM103に格納されたコメントを選択して印刷しているが、任意のコメントを入力するようにしても実現できる。

(8) 一実施形態では操作部106のカーソルキーと選択ボタンで操作するが、操作部106と表示部107をタッチパネルで構成することもできる。

(9) 一実施形態ではRAM104に蓄積できる画像の数は8個であるが、他の画像数でも実施できる。

(10) 一実施形態では選択できるコメントの数は8個であるが、他のコメント数でも実施できる。

【0117】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、印刷用紙に複数の画像をアルバムのように自由なレイアウトで配置できる効果がある。

【0118】

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態に係るデジタルスチルカメラの構成を示すブロック図である。

【図2】一実施形態における印刷結果の一例を示した図である。

【図3】一実施形態における印刷結果の他の例を示した図である。

【図4】一実施形態における表示部107に表示されるレイアウト指定画面を示す図である。

【図5】一実施形態における表示部107に表示される画像選択画面を示す図である。

【図6】一実施形態における表示部107に表示されるコメント選択画面を示す図である。

【図7】一実施形態におけるRAM104の中のメモリマップ図である。

【図8】図4のレイアウト指定画面表示中に実行される処理のフローチャートである。

【図9】図4のレイアウト指定画面表示中に実行される処理のフローチャートである。

【図10】図5の画像選択画面表示中に実行される処理

のフローチャートである。

【図11】図6のコメント選択画面表示中に実行される処理のフローチャートである。

【図12】印刷処理中に実行される処理のフローチャートである。

【図13】画像展開処理中に実行される処理のフローチャートである。

【図14】デジタルスチルカメラとプリンタを接続する従来例を示した図である。

【符号の説明】

101 デジタルスチルカメラ

102 CPU

103 ROM

104 RAM

105 画像入力部

106 操作部

107 表示部

108 U A R T (Universal Asynchronous Receiver/Transmitter)

109 変調部

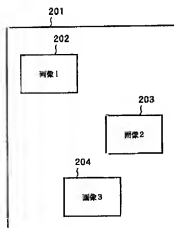
110 復調部

111 赤外線送信部

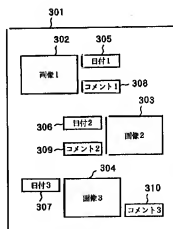
112 赤外線受信部

113 接続バス

【図2】



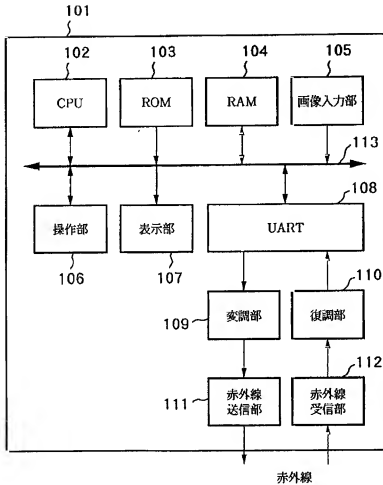
【図3】



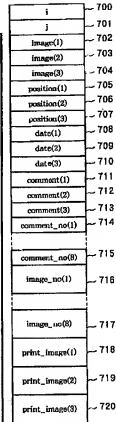
【図14】



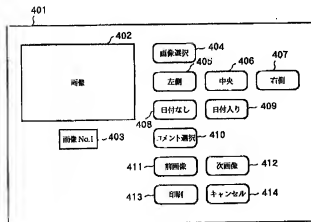
【図1】



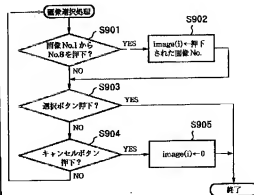
【図7】



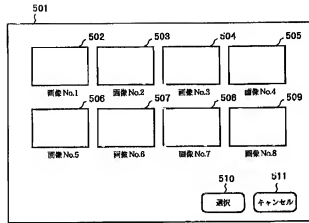
【図4】



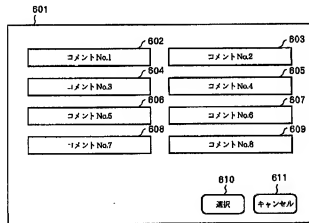
【図10】



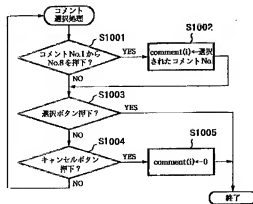
【図5】



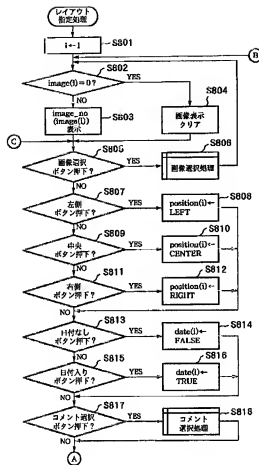
【図6】



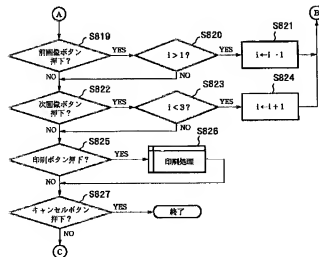
【図11】



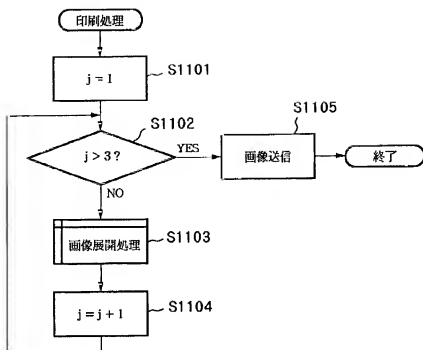
【図8】



【図9】



【図12】



【図13】

